

『厳しい就職環境にある方の 就業機会の確保等に関するお願い』について

新緑の候、貴社におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、京都府内の雇用失業情勢につきましては、三月の有効求人倍率が0・54倍となり、全国の有効求人倍率0・49倍を上回っているものの、近畿の完全失業率が5・8%と高止まるなど、依然として厳しい状況が続いております。

そうした中、特に、非正規労働者の雇い止め等に伴う生活保護受給者の増加や、世帯所得の減少等に伴い働きに出たいと願う女性の増加、今春の大学生、高校生等の新規学校卒業者の就職内定率の低下が見られるなど、雇用情勢の悪化の影響を受けやすい、社会的に弱い立場に置かれる方々に対し、就労と生活の支援を一体的に行うことなどが喫緊の課題となっております。

このため、私どもは、この度の「第6回京都雇用創出活力会議」において、求職中で生活にお困りの方が安心して就職できる仕組みや、働きたいと願う子育て中の女性やひとり親家庭の方などのニーズに応じてきめ細かに支援する仕組みづくりについて、「オール京都」体制で取り組むことといたしました。

つきましては、貴社におかれましても、企業間の競争や経営効率化等の厳しい事情を抱えておられることとは存じますが、高校生や非正規労働者、生活保護受給者等、社会的に弱い立場に置かれる方が、一人でも多く就職できますよう、実習の場の積極的な御提供について、よろしくお願いいたします。

また、企業の将来を支える基盤人材確保のためにも、正規雇用等の安定的な就業機会の創出・確保並びに仕事と育児・介護などの両立が可能となる多様な働き方の導入、就業環境の整備につきましても、併せて御協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成二十二年五月吉日

事業主各位

京都雇用創出活力会議

京 都 府 知 事 山 田 啓 二

京 都 市 長 門 川 大 作

京 都 労 働 局 長 永 山 寛 幸

連 合 京 都 会 長 細 田 一 三

京 都 経 営 者 協 会 会 長 位 高 光 司